

PassLogic クラウド版
サービス仕様書

第 1.0 版

パスロジ株式会社

改版履歴

版数	更新日付	更新内容（概要）
1.0	2020/3/2	新規作成

目次

1 サービス概要	4
1.1 サービス名称	4
1.2 サービスの基本タイプ	4
1.3 サービス概要	4
1.4 本サービスの提供機能	4
1.5 本サービスの提供区域	4
2 サービス品質	4
2.1 サービス時間	5
2.2 計画停止予定通知	5
2.3 サービス稼働率	5
2.4 信頼性について	5
2.5 バックアップについて	5
2.6 障害監視間隔	5
2.7 運用業務提供状況の報告方法及びサイクル	5
2.8 変更管理	5
2.9 暗号化の状況	6
2.10 ログのクロックに関する情報	6
3 性能について	6
4 お客様データについて	6
4.1 データ保管場所	6
4.2 データの削除	6
4.3 お客様データの保護及び第三者提供について	6
5 セキュリティについて	7
5.1 利用者との責任分界点	7
5.2 インシデント発生時の対応	7
5.3 脆弱性管理に関する情報	7
5.4 開発におけるセキュリティ情報	7
5.5 認証	8
6 外部クラウドサービスの利用について	8

1 サービス概要

「PassLogic クラウド版」は、パスロジ株式会社（以下、「当社」）が提供するサービスです。本サービス仕様書は、『PassLogic クラウド版 利用規約』に添付され、本サービスをご利用されるお客様（以下、「お客様」）に対し提供するサービス仕様を定めたものです。

尚、本サービス仕様書の内容については、予告なく変更する場合があります。

ご提供するサービスの詳細は以下の通りです。

1.1 サービス名称

PassLogic クラウド版

1.2 サービスの基本タイプ

アプリケーションサービス

1.3 サービス概要

本サービスは、パッケージ製品である認証システム「PassLogic エンタープライズ版」を、クラウド型で提供するサービスです。「PassLogic エンタープライズ版」は、トークンレス・ワンタイムパスワードをはじめとする、さまざまな認証方式による「認証」、クラウドサービスや社内ネットワーク上のサービスに対応する「シングルサインオン」、業務内容や役職などによりアクセス可能なシステムを振り分ける「アクセスコントロール」の機能をワンストップで提供する認証システムです。

「PassLogic エンタープライズ版」の詳細については、下記 URL にてご確認ください。

<https://passlogic.jp/>

1.4 本サービスの提供機能

本サービスで提供する機能は、下記サイトのオンラインマニュアルに記載しております。

<https://support-plc.passlogic.jp/hc/ja>

当社は、当社の自由な判断により本サービスの内容を変更・追加等する場合があります。

またパッケージ版とクラウド版との違いについては下記サイトにてご確認ください。

<https://passlogic.jp/comparison/>

1.5 本サービスの提供区域

本サービスの利用は、日本国内に限定されます。

ただし、出張等により日本国外において一時的に本サービスを利用する場合には、この限りではないものとします。

2 サービス品質

2.1 サービス時間

本サービスの提供時間は、24 時間 365 日とします。ただし、定期保守ならびにバージョンアップ等の計画停止の時間を除くものとします。

2.2 計画停止予定通知

当社は、定期保守、バージョンアップ等が必要な場合、実施の 14 日前までに、お客様へメール等での通知を行うことで、計画的にシステムを停止することができるものとします。1 回の計画停止の時間は、3 時間以内を目標とし、最大でも 12 時間を超えないものとします。

またお客様への影響が極力発生しないタイミング（日時）を見計らって、作業を行うものとします。ただし緊急時はこの限りではありません。

2.3 サービス稼働率

サービス稼働率は前項の計画停止を除き、99.99%以上を目標とします。

当社は、上記稼働率の達成に向けて、最大限の努力と体制維持に努めますが、これらを保証するものではありません。

2.4 信頼性について

本サービスは、AWS 東京リージョン内の複数のサーバーで、冗長的に提供されます。いずれかで障害が発生したとしても、その他でサービス提供が可能です。障害発生からサービス復旧までの平均障害復旧時間は、24 時間以内を目標とします。

2.5 バックアップについて

データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は、日次でバックアップを取得しています。バックアップは使用中のクラウドサーバー設備とは別設備に暗号化して安全な領域に 30 世代分保管されます。但し、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

2.6 障害監視間隔

本サービスに対しては、24 時間 365 日の自動監視を実施します。システムの自動監視の監視サイクルは 5 分以内の間隔とします。

2.7 運用業務提供状況の報告方法及びサイクル

提供状況の報告は行いません。

2.8 変更管理

本サービスのバージョンアップ情報を始めとした、各種の変更に関する情報は、下記のリンク先 Web ページより閲覧することが可能です。

○ リリースノート <https://passlogic.jp/cloudinfo/>

また、本サービスのバージョンアップが実施される場合、PassLogic クラウド版利用申込時にご提供頂いたテナント管理者のメールアドレスに対し、メールにてご連絡いたします。

2.9 暗号化の状況

データベースに保管される、お客様の各種情報（氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど）は暗号化されずに、適切なアクセス権のもとで保管されます。ただしパスワード情報については暗号化された状態で、データベースに保管されます。

具体的なデータ暗号化方式や暗号化の確認方法については、内部仕様となるため公開はしていませんが、電子政府推奨暗号リスト（CRYPTREC）に記載の暗号化方式を使用しております。

<https://www.cryptrec.go.jp/list/cryptrec-ls-0001-2012r4.pdf>

お客様の端末と、PassLogic クラウド版サーバーとの間のインターネット通信は、SSL 通信(SHA256)によって暗号化されます。

2.10 ログのクロックに関する情報

PassLogic クラウド版サービス内で提供されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で提供されます。

ログの時間は、AWS が提供する NTP サービスと同期しています。

3 性能について

本サービスの応答時間は3秒以内を目標とします。

ただし、以下の時間については、レスポンスタイムから除外するものとします。

- ① ネットワーク事業者、携帯電話事業者等の通信時間
- ② 接続先システムのレスポンスタイム
- ③ その他様々なネットワークの輻輳による通信時間の劣化

4 お客様データについて

4.1 データ保管場所

お客様からお預かりしたデータは、AWS 東京リージョンに保管されます。

4.2 データの削除

PassLogic クラウド版 利用に関する契約が終了した場合、契約終了から 90 日以内に削除します。ただし、セキュリティの観点よりログデータは削除されません。

4.3 お客様データの保護及び第三者提供について

お客様から預かったデータを適切に保護することは、当社の責任です。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、PassLogic クラウド版開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアク

セス権のもとで保管されます。

ただし、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、当社は、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

5 セキュリティについて

5.1 利用者との責任分界点

当社の責任

当社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- ・ PassLogic クラウド版アプリケーションのセキュリティ対策
- ・ PassLogic クラウド版アプリケーションに保管されたお客様データの保護
- ・ PassLogic クラウド版アプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- ・ 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- ・ PassLogic クラウド版における各種設定の適切な管理（ポリシー設定など）
- ・ PassLogic クラウド版アカウントの適切な管理（登録、削除、権限設定、テナント管理者設定など）

5.2 インシデント発生時の対応

お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント（データの消失、長時間のシステム停止等）が発生した場合は、インシデントが発生してから 72 時間以内を目標に PassLogic クラウド版利用申込時にご提供頂いたテナント管理者のメールアドレス宛に連絡します。

情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本サービス仕様書末尾の「PassLogic クラウド版サポート担当」窓口より受け付けています。

5.3 脆弱性管理に関する情報

PassLogic クラウド版開発チームは、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。

システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、定期保守（原則月に 1 回）のタイミングで、実施されます。ただし緊急性が高いものについてはこの限りではありません。

5.4 開発におけるセキュリティ情報

PassLogic クラウド版 システムの開発には、主に PHP が用いられています。開発は社内で定められたコーディング規約に従って実施されます。

5.5 認証

当社は、当社の事業において、情報資産をさまざまな脅威から守り、リスクを軽減させるため、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を構築し、国際標準規格である ISO27001 の認証取得をしています。

ISO27001 は、情報セキュリティ管理における国際標準規格であり、適用範囲内の全ての情報資産を対象とした、情報の機密性、完全性、可用性を維持していくための規格です。

https://isms.jp/lst/ind/CR_IS_x0020_697637.html

6 外部クラウドサービスの利用について

PassLogic クラウド版 では、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

サービス	機能	運営会社	情報
AWS	インフラ構築,運用	Amazon	氏名、メールアドレス 等

お問い合わせ窓口

この資料に関するお問い合わせ、情報セキュリティインシデントに関するお問い合わせはこちらまで

パスロジ株式会社

PassLogic クラウド版 お問い合わせ窓口

support-plc@passlogy.com

お問い合わせの受付は、24 時間 365 日行っておりますが、当社からの回答は当社営業日のサポートサービス時間（10:00～17:00/土・日・祝日・年末年始を除く）となります。